

AMDA 災害機動チーム発足へ

第1弾 中国地方 自治体、企業と連携

国際医療ボランティアを把握。チームに依
アAMD A(岡山市北区伊福町)は、西日本
豪雨での経験を教訓
に、大規模災害が発生
した際に全国の被災地
で迅速な医療支援を行
う「災害医療機動チー
ム」を立ち上げる。全
国8ブロックで順次つ
くる予定で、第1弾と
なる中国地方のチーム
を28日に発足させる。

ズを把握。チームに依
頼して、移動診療車や
炊き出し用の車両など
を出してもらい、支援
活動に役立てる。

チームは医療機関や
自治体、民間企業・団
体などで構成。災害が
起きると、AMD Aが
医師、看護師、調整員
を現地に派遣して二

AMD Aは昨夏、豪
雨で被災した倉敷市真
備町地区に移動診療車
を派遣し、現地の病院
医師の診療を支援し
た。電源車や医療スタ
ッフの宿泊場所確保な
ど、当時経験したさま
ざまなニーズにすぐに
応えられる態勢を整え
ておこうとチームづく
りを検討していた。

中国地方のチームは
鳥取県の飲食店チエ



ンなどの企
業のほか、
AMD Aと
災害対応に
関する連携
協定を結ん
でいる赤磐
市などがメ
ンバーとな
る予定。

行う総社市の片岡聡一
市長が岡山市内で会
見。「全国どこで災害
が起きてても、速やかに
支援に動けるチームを
つくりたい」と述べた。
(須藤里恵)

「災害医療機動チーム」の発足に
向け、岡山市内で会見するAMD
Aの菅波理事長(中央)と友実赤
磐市長(左)、片岡総社市長

3日、菅
波茂理事長
と友実武則
赤磐市長、